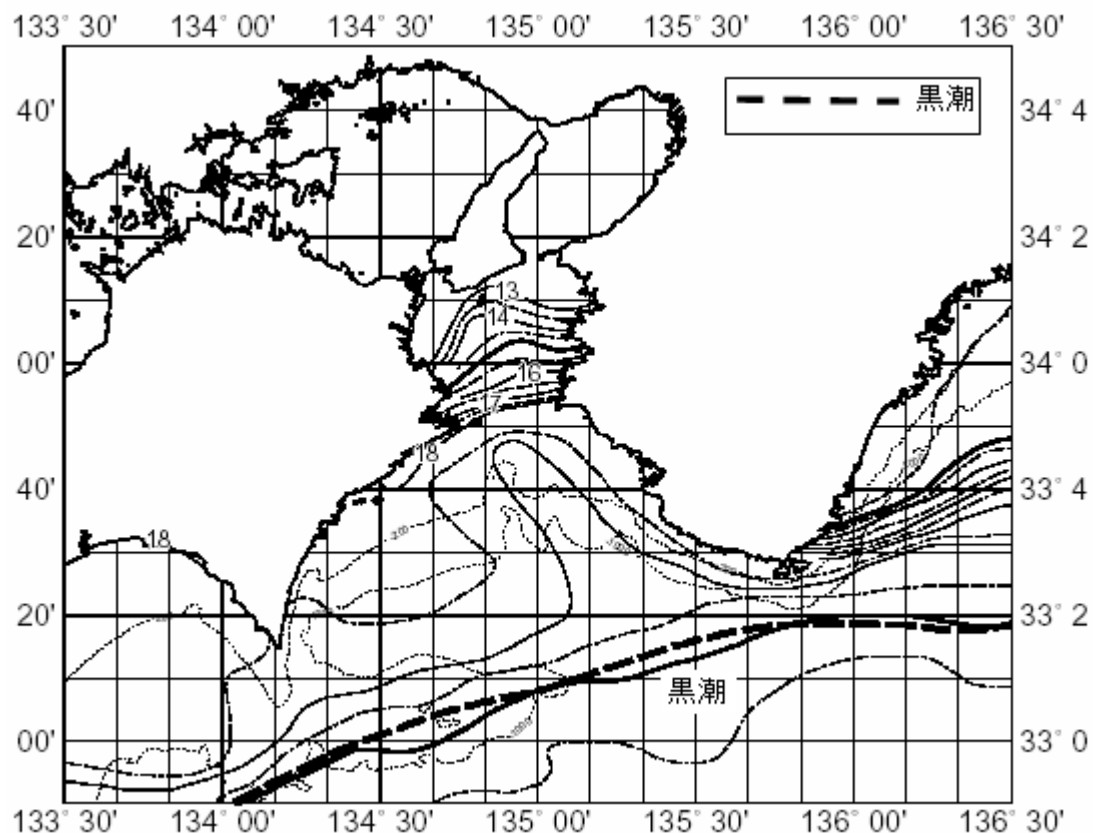


1. 海況の経過



海況

上に和歌山県の海況図(H20.01.07)を示した。

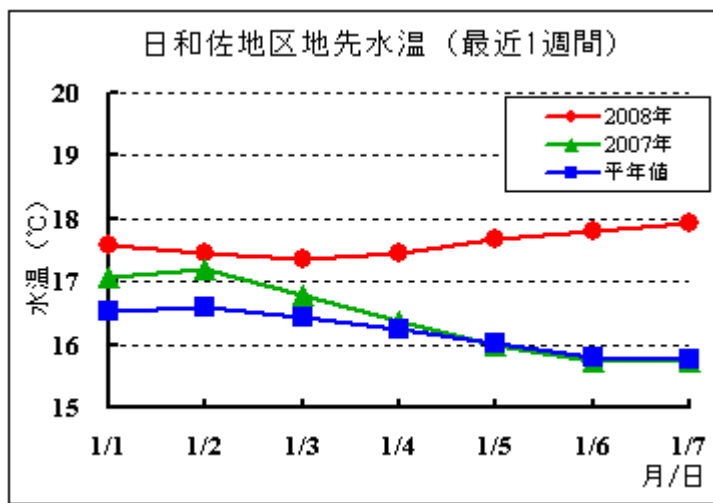
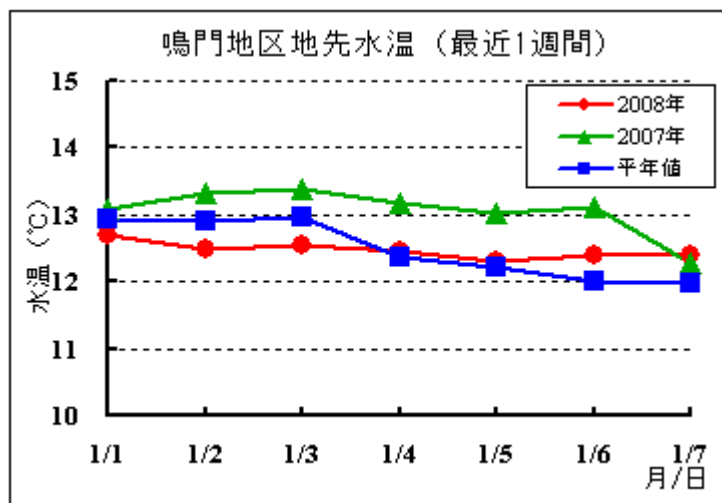
黒潮は室戸岬沖でやや離岸し、潮岬沖で接岸している。黒潮本流の表面水温は20～21℃台である。

表面水温は播磨灘が12℃台、紀伊水道内部が12～17℃台、外域が17～19℃台となっている。また、潮岬沖で黒潮が接岸しているため和歌山県側から黒潮系暖水が紀伊水道外域へ流入している。

地先水温

最近1週間の地先水温は、鳴門地区は「平年並み」の12.3～12.7℃、日和佐地区は「平年並み」～「高め」の17.4～17.9℃、牟岐地区は「やや高め」～「かなり高め」の16.9～18.8℃で推移した。

日和佐地区と牟岐地区は快晴が続いた影響で、水温が高めに推移した。



2. 漁況の経過

年末年始の休漁の影響で、出漁数が少ないため今週は掲載しません。

週間予報:

黒潮は、室戸岬で「やや離岸」～「接岸」、潮岬沖で「接岸」する見込み。

地先水温は、鳴門地先で「平年並み」の11～12℃、日和佐地先で「高め」の17℃で推移する見込み。

他県情報:

和歌山県の釣りで、タチウオが0.8トン(1日1隻あたり8kg)、イサキが0.4トン(同4kg)、パッチ網でシラスが7.0トン(同33kg)水揚げされた。

高知県芸東地域の大型定置網で、マアジが1.7トン、メジカが1.3トン、スルメイカが10.3トン水揚げされた。

3.平成20年前期(1～6月)の漁海況予報

独立行政法人水産総合研究センター(元水産庁研究所)および太平洋に面した県等の水産研究機関が共同で予報しました。そのうち、徳島県に関連する部分のみ抜粋しました。

海況

【黒潮】

- ・薩南海域の黒潮北縁は、屋久島南付近での変動が多く、5月に接岸傾向、6月に離岸傾向となる。
- ・黒潮は、1～4月は都井岬沖～潮岬沖で接岸傾向で推移し、5月に都井岬沖で小蛇行が形成される。

【薩南～房総沿岸域】

潮岬以西は「平年並み」～「高め」で推移する。

*紀伊水道沖合の黒潮は、期間を通して接岸して流れます。そのため、和歌山県側から黒潮系水が継続して徳島県沿岸部へ流入するでしょう。

漁況

(1)マイワシ 前年を上回るか前年並み。

(2)ウルメイワシ 前年並み。

(3)マサバ及びゴマサバ マサバは低水準。ゴマサバ1歳魚は前年を上回る。2歳魚は前年同様低い水準。3歳以上は少ない。サバ類全体としては前年を下回る。

(4)マアジ 前年を下回る。

*水温偏差の目安

平年並み:±0.49以下, やや高め(やや低め):±0.50～1.49, 高め(低め):±1.50～2.49, かなり高め(かなり低め):±2.50以上